

第3編 第2章

選挙

第1章「議会」に続く第2章では、東川町史第3巻（以下、本書）の対象である1994年度（平成6年度）から2018年度（平成30年度）に、東川町で投票が行われた地方選挙、国政選挙の結果を紹介する。

この間、1996年（平成8年）から衆院選に小選挙区比例代表並立制が導入されるなど、選挙制度の大きな見直しが何度かあった。例えば2003年（平成15年）12月からは、従来の不在者投票に代わって期日前投票制度が導入された。また16年（平成28年）6月からは、それまで20歳以上だった選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた。

このほか1995年（平成7年）8月1日発行の東川町史第2巻まで「選挙」の項目に掲載していた農業委員会選挙の結果は、本書では後述の「農業」の項で掲載することとした。2015年（平成27年）の農業委員会法改正で、農業委員会委員の選出方法が選挙ではなく市町村長による任命制に変わったため。



第2章 選挙

第1節 町長選挙と町議会議員選挙

町長選挙

(注1) 戦後、東川村長選挙と村議会議員選挙は1955年(昭和30年)まで、統一地方選挙に合わせて4月下旬に行われていた。しかし田植えの準備など農繁期にかかるため、59年(昭和34年)の村長・村議選で村長、村議が申し合わせて任期満了前に総辞職し、3月31日を投票日とした。59年8月の町制施行を経て、4年後の町長・町議選でも同様の手法で投票日をさらに1カ月早めた。この1963年(昭和38年)以降、2月23日告示、2月28日投票としている。当選した町長、町議の任期は3月31日から4年後の3月30日まで。

道内の米作地帯では同じ日程を採用するところも少なくない。2018年度(平成30年度)末に当たる2019年2月末には、東川町のほか空知管内の秩父別、長沼、北竜の3町でも町長選や町議選が行われた。

(注2) 2003年の東川町長選挙については、第1編「総説」第2章「魅力再発見」の第3節「試練の合併論議」で詳述した。

本書の対象である1994年度(平成6年度)～2018年度(平成30年度)に、東川町長選挙は7回行われた。いずれも任期満了に伴う選挙で、町議会議員選挙と同日に行われた(注1)。

7回のうち6回は無投票で当選者が決まり、複数候補による選挙戦になったのは2003年(平成15年)2月28日投開票の1回だけ。現職の山田孝夫氏と新人の松岡市郎氏の2氏が立候補し、松岡氏が初当選した(注2)。



町長・町議選のポスター掲示板=2019年2月

東川町長選挙

執行年月日	有権者数 (投票者数)	投票率(%)	候補者氏名	得票数
1995年(平成7年)2月28日	無投票	無投票	山田 孝夫	無投票
1999年(平成11年)2月28日	無投票	無投票	山田 孝夫	無投票
2003年(平成15年)2月28日	6,107 (5,150)	84.33	松岡 市郎 山田 孝夫	3,423 当選 1,694
2007年(平成19年)2月28日	無投票	無投票	松岡 市郎	無投票
2011年(平成23年)2月28日	無投票	無投票	松岡 市郎	無投票
2015年(平成27年)2月28日	無投票	無投票	松岡 市郎	無投票
2019年(平成31年)2月28日	無投票	無投票	松岡 市郎	無投票

町議会議員選挙

本書の対象である1994年度（平成6年度）～2018年度（平成30年度）に、東川町議会議員選挙は町長選と同じく7回行われた。いずれも任期満了に伴う選挙だった。

戦後、町議会（町制施行以前は村議会）の議員定数は1947年（昭和22年）に22と定められ、51年（昭和26年）に4減となった後は長く18で推移した。その後の人口減少などを受け、1991年（平成3年）に16、2007年（平成19年）に14、2011年（平成23年）に12と、2ずつ削減された。

町議選の選挙結果は次表の通り。

東川町議会議員選挙

執行年月日	有権者数 (投票者数)	投票率 (%)	候補者氏名	所属政党	得票数	結果
1995年（平成7年）2月28日 定数 16	5,514 (4,870)	88.32	石澤 正義	無所属	358	当選
			太田 博	日本共産党	353.119	〃
			佐々木彰郎	無所属	319	〃
			花本 哲行	無所属	316	〃
			大城 忠夫	無所属	313	〃
			原 博	公明党	313	〃
			上田 亮一	無所属	302	〃
			太田 行雄	無所属	277.880	〃
			浜辺 啓	無所属	275	〃
			滝本 堅三郎	無所属	270	〃
			石上 郁	無所属	269	〃
			長峰 毅八	無所属	255	〃
			川上 隆司	無所属	239	〃
			宮崎 堅二	無所属	226	〃
			金成 隆夫	無所属	197	〃
			加野 真一	無所属	174	〃
			佐竹 司兆	無所属	160	次点
大木 長蔵	無所属	144				
堀井 義鋪	無所属	91				
1999年（平成11年）2月28日 定数 16	5,910 (4,656)	78.78	花本 哲行	無所属	348	当選
			原 博	公明党	342	〃
			浜辺 啓	無所属	339	〃
			石上 郁	無所属	337	〃
			太田 博	日本共産党	330	〃
			佐々木彰郎	無所属	326	〃
			大城 忠夫	無所属	314	〃
			宮崎 堅二	無所属	283	〃
			上田 亮一	無所属	271	〃
			川上 隆司	無所属	270	〃
			本多 信義	無所属	265	〃
			石沢 正義	無所属	264	〃
			長峰 毅八	無所属	203	〃
			藤原 啓子	無所属	201	〃
			大木 長蔵	無所属	178	〃
			佐竹 司兆	無所属	173	〃
			藤倉 智恵子	無所属	119	次点
堀井 義鋪	無所属	66				

※無投票時の氏名の並びは届け出順。

執行年月日	有権者数 (投票者数)	投票率 (%)	候補者氏名	所属政党	得票数	結果
2003年(平成15年)2月28日 定数16	6,107 (5,146)	84.26	米田 保	無所属	422	当選
			浜辺 啓	無所属	385	〃
			原 博	公明党	367	〃
			佐々木彰郎	無所属	347	〃
			石上 郁	無所属	339	〃
			石澤 正義	無所属	332	〃
			谷 千代栄	無所属	302	〃
			鶴間 松彦	日本共産党	300	〃
			藤原 啓子	無所属	282	〃
			川上 隆司	無所属	259	〃
			本多 信義	無所属	251	〃
			長峰 毅八	無所属	226	〃
			由川 英二	無所属	223	〃
			佐竹 司兆	無所属	219	〃
			大木 長蔵	無所属	209	〃
			大澤 聡	無所属	203	〃
			藤倉 智恵子	無所属	180	次点
広瀬 常夫	無所属	159				
堀井 義鋪	無所属	56				
2007年(平成19年)2月28日 定数14	無投票	無投票	原 博	公明党	無投票	当選
			本多 信義	無所属		〃
			米田 保	無所属		〃
			鶴間 松彦	日本共産党		〃
			高橋 昭典	無所属		〃
			藤倉 智恵子	無所属		〃
			長峰 毅八	無所属		〃
			由川 英二	無所属		〃
			大沢 聡	無所属		〃
			藤原 啓子	無所属		〃
			谷 千代栄	無所属		〃
			佐竹 司兆	無所属		〃
			浜辺 啓	無所属		〃
			石上 郁	無所属		〃
2011年(平成23年)2月28日 定数12	6,303 (4,600)	72.98	正満 正義	無所属	519	当選
			鶴間 松彦	日本共産党	501	〃
			高橋 昭典	無所属	490	〃
			浜辺 啓	無所属	433	〃
			安原 芳博	無所属	428	〃
			薦田 敏次	公明党	399	〃
			米田 保	無所属	379	〃
			藤倉 智恵子	無所属	337	〃
			由川 英二	無所属	252	〃
			藤原 啓子	無所属	195	〃
			大澤 総	無所属	194	〃
			長峰 毅八	無所属	190	〃
			佐竹 司兆	無所属	179	次点
			堀井 義鋪	無所属	68	

※無投票時の氏名の並びは届け出順。

執行年月日	有権者数 (投票者数)	投票率 (%)	候補者氏名	所属政党	得票数	結果
2015年(平成27年)2月28日 定数12	6,398 (4,124)	64.46	鶴間 松彦	日本共産党	555	当選
			正満 正義	無所属	458	〃
			畑中 雅晴	無所属	442	〃
			高橋 昭典	無所属	415	〃
			能登 暢吉	無所属	354	〃
			薦田 敏次	公明党	339	〃
			藤原 啓子	無所属	270	〃
			由川 英二	無所属	264	〃
			藤倉 智恵子	無所属	248	〃
			安原 芳博	無所属	238	〃
			堀井 義鋪	無所属	176	〃
			大澤 總	無所属	165	〃
			宮崎 正志	無所属	158	次点
2019年(平成31年)2月28日 定数12	6,646 (4,529)	68.15	飯塚 達央	無所属	423	当選
			高橋 昭典	無所属	394	〃
			鶴間 松彦	日本共産党	380	〃
			正満 正義	無所属	359	〃
			山家 祥幸	無所属	332	〃
			薦田 敏次	公明党	325	〃
			杉本 岳大	無所属	314	〃
			畑中 雅晴	無所属	295	〃
			能登 暢吉	無所属	275	〃
			安原 芳博	無所属	248	〃
			鈴木 哉美	無所属	244	〃
			藤倉 智恵子	無所属	235	〃
			由川 英二	無所属	221	次点
			三浦 謙一	日本共産党	197	
			藤原 啓子	無所属	196	
			堀井 義鋪	無所属	50	

※無投票時の氏名の並びは届け出順。



第2章 選挙

第2節 道知事選挙と道議会議員選挙

北海道知事選挙

本書の対象となる1994年度（平成6年度）～2018年度（平成30年度）に北海道知事選挙は6回行われ、堀達也氏が連続2回、続いて高橋はるみ氏が連続4回当選した。その後、2019年（平成31年）4月の道知事選では鈴木直道氏が初当選し、本章が公開された2021年（令和3年）時点で1期目を務めている。知事選の結果は次の通り。

北海道知事選挙

執行年月日	有権者数 (投票者数)	投票率 (%)	候補者氏名	所属政党	東川町 得票数	総得票数	結果
1995年（平成7年）4月9日	5,477 (3,545)	64.73	ほり 達也 伊藤 秀子 三浦 雄一郎 かい 基男 三沢 道男	無所属 無所属 無所属 無所属 無所属	2,172 972 192 153 58	1,636,360 766,657 191,099 169,715 41,647	当選
1999年（平成11年）4月11日	5,833 (3,462)	59.35	堀 達也 伊藤 秀子 さとう 誠一	無所属 無所属 無所属	1,985 1,037 371	1,593,251 810,187 374,931	当選
2003年（平成15年）4月13日	6,017 (3,516)	58.43	高橋 はるみ はちろ 吉雄 いそだ 憲一 いとう 秀子 酒井 芳秀 若山 俊六 上野 憲正 山田 得生 つづき 利夫	無所属 無所属 無所属 無所属 無所属 無所属 無所属 無所属 無所属	951 711 1,003 485 115 108 47 21 26	798,317 736,231 428,548 371,126 167,615 142,079 32,119 28,190 21,521	当選
2007年（平成19年）4月8日	6,169 (3,907)	63.33	高橋 はるみ 荒井 さとし 宮内 さとし	無所属 無所属 日本共産党	2,483 1,178 233	1,738,569 981,994.184 184,969.708	当選
2011年（平成23年）4月10日	6,262 (3,362)	53.69	高橋 はるみ 木村 としあき 宮内 さとし かつや 忠	無所属 無所属 無所属 無所属	2,353 678 201 105	1,848,504 544,319 176,544 92,491	当選
2015年（平成27年）4月12日	6,343 (3,826)	60.32	高橋 はるみ 佐藤 のりゆき	無所属 無所属	1,962 1,845	1,496,915 1,146,573	当選
2019年（平成31年）4月7日	6,587 (4,002)	60.76	鈴木 直道 石川 ともひろ	無所属 無所属	2,315 1,660	1,621,171 963,942	当選

北海道議会議員選挙

北海道議会の定数は1983年（昭和58年）以降、長く110だったが、人口減少などに伴い2007年（平成19年）に106、2011年（平成23年）に104、2015年（平成27年）に101、2019年（平成31年）に100となった。

東川町は、上川管内のうち旭川市（定数6）と名寄市（定数1）を除く上川地域選挙区（定数3）に属する。上川地域選挙区をめぐっては、かつて士別市と富良野市も単独の選挙区だったが、士別市は2003年（平成15年）の道議会議員選挙から、富良野市は2007年（平成19年）の道議選から、それぞれ上川地域選挙区に合区された。定数は3で変わらない。

道議選の結果は次表の通り。

北海道議会議員選挙（上川地域選挙区）

執行年月日 定数	有権者数 (投票者数)	投票率 (%)	候補者氏名	所属政党	東川町 得票数	総得票数	結果
1995年（平成7年）4月9日 定数3	5,477 (3,767)	68.78	たけうち 英順 しぶや 澄夫 明田 たつよし たぶち 洋一	自由民主党 日本社会党 自由民主党 無所属	1,210 928 451 830	21,489 18,731 13,467 12,988	当選 " " 次点
1999年（平成11年）4月11日 定数3	5,833 (3,458)	59.28	たけうち 英順 たぶち 洋一 やの 制光 しぶや 澄夫	自由民主党 自由民主党 民主党 新社会党	1,294 888 638 532	26,615 15,855 11,838 10,415	当選 " " 次点
2003年（平成15年）4月13日 定数3	6,017 (3,891)	58.3	たけうち 英順 ささき 隆博 たぶち 洋一 やの 制光	自民党 民主党 自民党 民主党	1,381 364 767 886	24,309 22,240 16,853 12,021	当選 " " 次点
2007年（平成19年）4月8日 定数3	6,165 (3,891)	63.11	北口 ゆうこう たけうち 英順 本間 勲 たぶち 洋一	民主党 自由民主党 無所属 自由民主党	1,133 1,559 422 683	27,454 23,644 23,015 13,931	当選 " " 次点
2011年（平成23年）4月10日 定数3	無投票	無投票	本間 勲 たけうち 英順 北口 ゆうこう	無所属 無所属 無所属	無投票	無投票	当選 " "
2015年（平成27年）4月12日 定数3	無投票	無投票	たけうち 英順 北口 ゆうこう 本間 勲	自由民主党 民主党 自由民主党	無投票	無投票	当選 " "
2019年（平成31年）4月7日 定数3	無投票	無投票	本間 勲 北口 ゆうこう たけうち 英順	自由民主党 立憲民主党 自由民主党	無投票	無投票	当選 " "

※無投票時の氏名の並びは届け出順。



第2章 選挙

第3節 国政選挙

衆議院議員選挙

衆議院議員選挙の選挙制度は、1994年（平成6年）の公職選挙法改正で大きく見直された。それまでの中選挙区制に代わって小選挙区比例代表並立制が導入され、1996年（平成8年）10月投開票の衆院選から適用された。

中選挙区当時、東川町は定数4の北海道2区（旭川、名寄、士別、富良野、稚内、留萌の各市と上川、留萌、宗谷の3支庁管内）に属していた。定数1の小選挙区制度下で初めて実施された96年衆院選では、旭川市が北海道6区、東川町を含む上川、留萌、宗谷3支庁管内と名寄、士別、富良野、稚内、留萌の各市は北海道7区となった。2000年（平成12年）6月の衆院選も同じ区割りで実施された。

2003年（平成15年）11月の衆院選では小選挙区の区割りが見直され、東川町を含む上川管内と旭川、名寄、士別、富良野の各市が北海道6区、留萌管内、空知管内と留萌、岩見沢、滝川などの各市が北海道10区、宗谷管内、オホーツク管内と稚内、北見、網走などの各市が北海道12区になった。

衆院選のうち小選挙区の選挙結果は次ページの通り。

衆議院議員選挙(小選挙区)

執行期日	有権者数 (投票者数)	投票率 (%)	候補者氏名	所属政党	東川町 得票数	総得票数	結果
1996年(平成8年)10月20日 旧北海道7区	5,696 (3,523)	61.85	金田 えいこう さくらば 康喜 上草 義輝 ましこ 昌正	自由民主党 民主党 新進党 日本共産党	1,268 1,088 814 286	65,955 62,549 52,300 11,149	当選
2000年(平成12年)6月25日 旧北海道7区	6,050 (3,972)	65.65	金田 えいこう さくらば 康喜 ましこ 昌正	自由民主党 民主党 日本共産党	1,864 1,675 363	94,290 85,553 11,889	当選
2003年(平成15年)11月9日 北海道6区	6,142 (4,171)	67.91	今津 ひろし ささき 秀典 西川 まさひと 中野 よしのり	自由民主党 民主党 無所属 日本共産党	1,755 1,557 504 297	112,270 111,656 37,518 18,144	当選 比例当選
2005年(平成17年)9月11日 北海道6区	6,221 (4,562)	73.33	ささき 隆博 金田 えいこう 田辺 八郎	民主党 自由民主党 日本共産党	2,112 2,041 345	143,860 141,099 23,343	当選
2009年(平成21年)8月30日 北海道6区	6,341 (4,889)	77.1	ささき 隆博 今津 ひろし おぎう 和敏 武田 しんいち	民主党 自由民主党 日本共産党 幸福実現党	2,681 1,747 320 76	175,879 119,964 17,884 3,554	当選
2012年(平成24年)12月16日 北海道6区	6,383 (4,063)	63.65	今津 ひろし ささき 隆博 安住 たかのぶ おぎう 和敏	自由民主党 民主党 みんなの党 日本共産党	1,581 1,087 858 408	103,064 69,272 48,736 18,915	当選
2014年(平成26年)12月14日 北海道6区	6,434 (4,101)	63.74	ささき 隆博 今津 ひろし おぎう 和敏	民主党 自由民主党 日本共産党	1,766 1,609 622	104,595 101,748 24,656	当選 比例当選
2017年(平成29年)10月22日 北海道6区	6,695 (4,491)	67.08	ささき 隆博 今津 ひろし	立憲民主党 自由民主党	2,553 1,845	136,312 113,851	当選



参議院議員選挙

(注3) 拘束名簿方式の場合、有権者は政党名で投票する。各政党の議席数は得票数に応じて配分され、当選者はあらかじめ各政党から提出された名簿の上位から順に決まる。これに対して非拘束名簿方式の場合、有権者は政党名か個人名で投票する。各政党の議席数は政党名と個人名の合計に応じて配分され、各政党の当選議席数の中で得票の多い個人名の順に当選者が決まる。

2018年(平成30年)の公職選挙法改正では、非拘束名簿方式を基本としつつ、非拘束名簿とは別枠で政党が「優先的に当選人となるべき候補者」に順位をつけた名簿をつくっておく「特定枠」制度も選ぶことができるようになった。

参議院議員選挙は戦後長く、全国区100、地方区150(うち北海道選挙区は8)の計250が定数だった。このうち全国区は1982年(昭和57年)の法改正で廃止され、拘束名簿式比例代表制度(注3)が導入された。そして2000年(平成12年)の法改正では比例代表の選出方法が、拘束名簿方式から非拘束名簿方式へと変わった。

地方区の定数や区割りは、たびたび見直された。定数8が長く続いた北海道選挙区は、1994年(平成6年)の見直し(全国で8増8減)の際に4へと定数が半減し、2015年(平成27年)の定数是正(全国で10増10減)で4から6になった。

参院議員は任期6年で、3年ごとに半数ずつ改選される。このため北海道選挙区では、1995年(平成7年)から2013年(平成25年)まで7回の参院選では2人ずつ、2016年(平成28年)以降の参院選では3人ずつが改選されている。

参院選のうち北海道選挙区の選挙結果は次ページの表の通り。

参議院議員選挙(北海道選挙区)

執行期日	有権者数 (投票者数)	投票率 (%)	候補者氏名	所属政党	東川町 得票数	総得票数	結果
1995年(平成7年)7月23日 定数4(改選2)	5,670 (2,814)	49.63	すがの 久光 小川 勝也 木本 由孝 高崎 ゆう子 吉野 悦子 前谷 宏	社会党 新進党 自由民主党 共産党 新時代党 無所属	844 708 639 476 53 22	563,029 511,139 488,807 392,714 40,106 21,716	当選 " 次点
1998年(平成10年)7月12日 定数4(改選2)	5,854 (3,532)	60.33	みねざき 直樹 中川 義雄 紙 智子 かやの 志朗 小野 ケンタロー みずよし 正美 さわだ 健一 松川 りょうこ 村田 秀夫 千代 信人	民主党 自由民主党 日本共産党 社会民主党 自由党 新社会党 青年自由党 自由連合 無所属 維新政党・新風	1,001 1,087 798 168 143 39 39 27 51 12	804,611 723,786 605,119 146,159 161,505 34,374 33,390 32,557 28,480 7,249	当選 " 次点
2001年(平成13年)7月29日 定数4(改選2)	6,154 (3,610)	58.66	だて 忠一 小川 勝也 宮内 さとし 西川 まさひと 杉山 よし子 松村 たみ子 よこやま 充洋 熊谷 あきふみ さいとう 宣行 千代 信人	自由民主党 民主党 日本共産党 自由党 社会民主党 女性党 無所属 自由連合 新社会党 維新政党・新風	1,208 969 325 477 162 140 41 11 38 17	985,274 683,704 284,575 196,348 165,670 87,597 36,119 33,500 25,261 11,469	当選 " 次点
2004年(平成16年)7月11日 定数4(改選2)	6,185 (4,021)	65.01	中川 義雄 みねざき 直樹 西川 まさひと 鈴木 宗男 岡 ちはる 山内 恵子 千代 信人	自由民主党 民主党 民主党 無所属 日本共産党 社会民主党 維新政党・新風	1,088 621 1,141 588 329 154 17	741,831 618,277 552,993 485,382 254,338 106,631 19,020	当選 " 次点
2007年(平成19年)7月29日 定数4(改選2)	6,332 (4,051)	63.98	小川 勝也 だて 忠一 多原 かおり はたやま 和也 羽柴 秀吉 浅野 隆雄 荒川 昌之 千代 信人	民主党 自由民主党 無所属 日本共産党 無所属 社会民主党 無所属 維新政党・新風	1,475 1,036 849 286 102 145 27 25	1,018,597 757,463 621,497 206,463 103,282 79,474 22,154 18,234	当選 " 次点
2010年(平成22年)7月11日 定数4(改選2)	6,358 (4,070)	64.01	長谷川 岳 徳永 エリ 藤川 まさし 中川 けんいち はたやま 和也 大林 まこと	自由民主党 民主党 民主党 みんなの党 日本共産党 幸福実現党	1,297 970 889 451 304 46	948,267 708,523 567,167 320,992 200,231 22,166	当選 " 次点
2013年(平成25年)7月21日 定数4(改選2)	6,493 (3,768)	58.03	だて 忠一 小川 勝也 あさの 貴博 森 つねと 安住 たかのぶ 森山 よしのり	自由民主党 民主党 新党大地 日本共産党 みんなの党 幸福実現党	1,099 941 433 407 658 70	903,693 583,995 352,434 272,102 261,802 23,194	当選 " 次点
2016年(平成28年)7月10日 定数6(改選3)	6,654 (4,279)	64.31	長谷川 岳 徳永 エリ はちろ 吉雄 かきき 克弘 森 つねと 佐藤 和夫 中村 治 飯田 佳宏 森山 よしのり 水越 寛陽	自由民主党 民進党 民進党 自由民主党 日本共産党 日本のことを大切に 支持政党なし 無所属 幸福実現党 無所属	971 986 739 644 543 65 38 52 78 20	648,269 559,996 491,129 482,688 239,564 34,092 29,072 26,686 21,006 12,944	当選 " " 次点
2019年(令和元年)7月21日 定数6(改選3)	6,724 (3,931)	58.46	高橋 はるみ 勝部 けんじ 岩本 つよひと はたやま 和也 はらや なみ 山本 貴平 中村 治 森山 よしのり いわせ 清次	自由民主党 立憲民主党 自由民主党 日本共産党 国民民主党 NHKから国民を守る党 安楽死制度を考える会 幸福実現党 労働の解放を目指す労働者党	1,296 862 584 608 361 85 29 27 10	828,220 523,737 454,285 265,862 227,174 63,308 23,785 13,724 10,108	当選 " " 次点



第2章 選挙

第4節 選挙管理委員会

選挙管理委員会

選挙管理委員会とは、選挙を公正に執り行うために執行機関から独立して置かれる組織のこと。このうち中央選挙管理委員会は公職選挙法第5条に基づく総務省の附属機関で、衆議院比例代表選挙と参議院比例代表選挙に関する事務、最高裁判所裁判官の国民審査に関する事務などを管理する。

都道府県や市町村など地方公共団体の選挙管理委員会は、地方自治法第181条に基づいて設置される。委員の任期は4年。4人の委員と同数の補充員が、議会の選挙を経て選ばれる。

このうち都道府県選挙管理委員会は衆議院の小選挙区選挙、参議院の選挙区選挙、都道府県の知事、議会議員選挙に関する事務などを管理する。また、東川町選管など市区町村選挙管理委員会は、市区町村の長、議会議員選挙に関する事務を管理することに加え、選挙人名簿の調製・保管を担当し、すべての選挙について投開票事務を担う。

東川町選挙管理委員会の委員、補充員は次ページの通り。

選挙管理委員会の委員と補充員

1991年（平成3年）10月28日～1995年（平成7年）10月27日			
委員長	松木 金平	補充員	金盛 悟
職務代理者	白川 功	〃	大久保 覚城
委員	吉岡 秀雄	〃	児玉 武夫
〃	秋原 恂	〃	上村 民子

1995年（平成7年）10月28日～1999年（平成11年）10月27日			
委員長	西尾 勉	補充員	大久保 覚城
職務代理者	二瓶 涼子	〃	児玉 武夫
委員	西田 孝志	〃	上村 民子
〃	棒手 小夜江	〃	木村 孝

1999年（平成11年）10月28日～2003年（平成15年）10月27日			
委員長	西尾 勉	補充員	大久保 覚城
職務代理者	西田 孝志	〃	児玉 武夫
委員	畑中 律子	〃	上村 民子
〃	二瓶 涼子	〃	木村 孝

2003年（平成15年）10月28日～2007年（平成19年）10月27日			
委員長	西田 孝志	補充員	木村 孝
職務代理者	佐藤 隆政	〃	堀部 邦夫
委員	畑中 律子	〃	關 龍雄
〃	紺野 桂子	〃	岩田 和子

2007年（平成19年）10月28日～2011年（平成23年）10月27日			
委員長	水野 忠昭	補充員	堀部 邦夫
職務代理者	盛永 光義	〃	岩田 和子
委員	紺野 桂子	〃	栗飯原 順二
〃	鶴岡 正子	〃	大城 進

2011年（平成23年）10月28日～2014年（平成26年）7月31日			
委員長	水野 忠昭	補充員	堀部 邦夫
職務代理者	盛永 光義	〃	岩田 和子
委員	紺野 桂子	〃	栗飯原 順二
〃	鶴岡 正子	〃	大城 進

2014年（平成26年）8月1日～2015年（平成27年）10月27日			
委員長	水野 忠昭	補充員	岩田 和子
職務代理者	堀部 邦夫	〃	栗飯原 順二
委員	紺野 桂子	〃	大城 進
〃	鶴岡 正子	〃	

2015年（平成27年）10月28日～2019年（令和元年）10月27日			
委員長	水野 忠昭	補充員	岩田 和子
職務代理者	堀部 邦夫	〃	栗飯原 順二
委員	鶴岡 正子	〃	大城 進
〃	澤田 久美子	〃	平田 久美子

写真文化首都「写真の町」ひがしかわ

東川町史 第3巻

2022年10月15日 初版

編集・発行 写真文化首都「写真の町」東川町

制作 公園前Graph-X's

※禁無断複製・転載



写真文化首都「写真の町」ひがしかわ
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町1丁目16番1号
Tel 0166-82-2111 (代)
<https://town.higashikawa.hokkaido.jp/>

